

◆企業の持続的な成長を阻害する！「業務の属人化」のリスク◆

さて、あなたの会社で「業務の属人化」は起こっていませんか？

◆-----◆
企業の持続的な成長を阻害する！「業務の属人化」のリスク
◆-----◆

業務の属人化とは、特定の社員が業務を一手に担い、他の人が対応できない状態を指します。

日常業務がうまく回っている間は、そのリスクに気づきにくいものです。

しかし、その社員が休職・退職・長期出張となった場合、あまりの業務量の多さに引き継ぎが困難になり、最終的に経営者が対応せざるを得ないケースもあるようです。

ちなみに、属人化を放置すると、組織には以下のようなリスクが発生します。

- ①業務が停滞する
- ②特定の社員の負担が増大し、離職リスクが高まる
- ③業務のやり方が固定し、改善されない
- ④人材育成が遅れ、若手が成長できない

では、企業が属人化のリスクを回避するためには、どのような対策が有効なのでしょう？

ちなみに、社内で属人化対策を進めている企業は、以下のような取り組みを行なっているようです。

■属人化している業務を定期的に洗い出す

どの業務が特定の社員に依存しているかをリスト化し、分担できるものを探す。

■引き継ぎ訓練を実施する

突然の休職・退職に備え、定期的に他の社員が業務を引き継げるかテストする。

■業務マニュアルを作成・更新する

重要業務の手順を明文化し、誰でも対応できる状態にする。さらに定期的に見直し、アップデートする。

■チームで業務を担当する体制をつくる

重要な業務を1人に任せず、2人以上でカバーする仕組みを構築する。

など。

属人化は、一時的には業務の効率を上げるように見えますが、長期的には企業の成長を阻害し、リスクをもたらします。組織全体でスキルを共有し、社内のノウハウを維持していくことが、持続的な成長につながるはずです。

もし、自社の業務が属人化しつつあると感じていたら「業務の洗い出し」や「マニュアルの見直し」から始めてみてはいかがでしょうか？

□■□ _____
編集後記

_____ □■□

今回は「業務の属人化」をテーマにお伝えしました。

属人化対策は、安定した業務品質を維持し続けるために欠かせない取り組みです。当社もまずは業務の洗い出しから始めてみようと思いました。

最後までお読みいただきましてありがとうございます。

ご疑問点など、お気軽にお問い合わせ下さい。

それでは、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

